里山センターイベント
「チョウから自然環境の変化を調べてみよう」

操山でも多くの生きものが生息していますが、その中でもチョウは環境の変化にもっとも敏感。動向を調べることにより、自然環境の変化を把握することが出来るそうです。
今回は里山センターでモニタリング調査の方法を学ぶ研修会が開催されました。

NPO 法人日本チョウ類保全協会
事務局長の中村さんが今回の先生です。

研修の前半は座学です。真剣に受講中！
調査ルートを設定したり、場所や時期
天候など複数のルールに従って行います。

これは「キタキチョウ」チョウの種類も
わかるようにならなくちゃ!!

今まで「チョウが飛んでる♪」と、何気なく見ていましたが、ルールに従い観察できたチョウの種類や数を調査することがモニタリング調査のポイントという事がわかりました。
本格的に始める前に、自分の好きな観察場所でチャレンジしてみるのも良いかもしれませんね。